

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-500094(P2005-500094A)

【公表日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-001

【出願番号】特願2003-501318(P2003-501318)

【国際特許分類】

A 47 K	7/00	(2006.01)
A 61 K	8/02	(2006.01)
A 61 K	8/00	(2006.01)
D 04 H	1/54	(2006.01)
D 04 H	3/00	(2006.01)
D 04 H	3/16	(2006.01)

【F I】

A 47 K	7/00	B
A 61 K	7/00	L
A 61 K	7/00	W
D 04 H	1/54	Q
D 04 H	3/00	D
D 04 H	3/16	

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月16日(2005.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者の皮膚または毛髪の拭取りに適した多数の吸脂性脂取りシートのパッケージであって、この脂取りシートは、50～100パーセントの保脂率パーセントを有し、熱可塑性材料の吸脂性多孔質フィルムを含み、65未満の透明度を有し、脂が負荷された時に透明度が変化する、前記多孔質フィルムが、中間脂不浸透性層またはフィルムを伴なわずに、直接に1つの面に脂汚染可能層を有する、吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項2】

前記脂汚染可能層がマクロ多孔質層またはパターンコーティング層である、請求項1に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項3】

前記脂汚染可能層が乾燥粉末である、請求項2に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項4】

前記脂汚染可能層が不織ウェブである、請求項2に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項5】

前記不織ウェブが、10～100g/m²の坪量を有し、脂取りシートに断続的に接着され、その接着面積が1～50パーセントである、請求項1, 2または4に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 6】

前記多孔質フィルムの単位面積あたりの間隙容量が、次の等式：

単位面積あたりの間隙容量 = [フィルム厚さ (cm) × 1 (cm) × 空隙率 (%)] / 100 (式中、空隙率は、多孔質フィルム中の空隙のパーセンテージである)

によって計算された場合、0.0001 ~ 0.005 cm³の範囲内にあり、前記多孔質フィルムの空隙率が5 ~ 50 %の範囲内にあり、フィルムの厚さが5 ~ 200 μmの範囲内にある、請求項1 ~ 5のいずれか1項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 7】

前記多孔質フィルムが、20 ~ 60 パーセントの非微粒子充填剤を含む熱可塑性多孔質フィルムを含む、請求項1 ~ 6のいずれか1項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 8】

前記多孔質フィルムの空隙が、0.2 ~ 5.0 ミクロン (μm) の範囲内の平均サイズを有する、請求項1 ~ 7のいずれか1項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 9】

前記脂汚染可能層が泡立て界面活性剤である、請求項1 ~ 3及び請求項5 ~ 8のいずれか1項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。